インフォメーション No. 1

愛する兄弟姉妹の皆さん、

わたしたちは、先の日曜日、4 月 25 日から聖パウロ修道会第 9 回総会のために、ここアリッチャのディヴィン・マエストロ・ハウスに集まっています。まずは、世界中からわたしたちに寄せられている祈りと祝福に心からのお返しをしたいと思います。わたしたちが取り組もうとしているテーマ「受けた賜物を燃え上がらせなさい――パウロ的カリスマの 100 年史に対する創造的忠実」は、険しく、同時に刺激的なものです。ですから、皆さんの祈り、聖霊がわたしたちを導き、照らしてくださるようにとのとりなしの祈りが本当に必要なのです。世界中から集まった総会議員は全部で 64 名です。すでに発表された参加者リストにあった前総長ピエトロ・カンプス神父は病気のために出席していません。また、「ビザ」の問題で入国できなかったコンゴ地区代表のジルベール・アレミック・ミカ助祭に代わり、補欠のフランチェスコ・カンプス神父が出席しています。

アルバノ湖畔の気候の特徴でもある湿気、雨が降ったり晴れたりの繰り返しといったここ数日の天気の中、それにもかかわらず、兄弟として、友としての雰囲気とユーモアがわたしたちを一つに結びつけています。実際、わたしたちはためらうことなく、集中して作業を始めました。昨日、4 月 28 日、わたしたちは総会の導入とも言うべき最初の段階を終えました。ここでは、いくつかの根本的テーマについて考え、深めました。こうして、わたしたちは、使徒・コミュニケーターとしてのパウロ会員、コミュニケーションの世界におけるわたしたちの共同体、そしてわたしたちの使徒職の現実についてのとりあえずの定義に至りました。作業は、会議場でのテーマの提示・講話の後、総会の公式言語である 3 つの言語、イタリア語、英語、スペイン語に応じて、7 グループの分科会に分かれて進められました。わたしたちが思索と討議のために用いた資料は、全体会議の写真や動画とともにインターネットの当該サイト（www.paulus.net/cg2010）にアップされています。

この最初の深めの段階の後、昨日、4 月 28 の午後 3 時、聖パウロ修道会第 9 回総会の開会を総長シルヴィオ・サッシ神父が公式に宣言しました。最初の作業は、「総会規定」を朗読、討議、承認することでした。「総会規定」は、総会における作業が正しいプロセスで進められるための大切な文書であり、70 項目にもわたる密度の濃い文書です。「総会規定」の承認に次いで、総会の諸任務を担う人々の選出がなされました。選挙は、4 月 29 日木曜日の午前中いっぱいまでかかりました。集開票人として選ばれたのは、総会参加者の中で最も年齢の若い 2 人、**オクタヴィオ・フィゲレード**（Octavio Figueredo）神学生と**ジョセ・カルロス・ヌーネス**（José Carlos Nunes）神父。中央事務局長として**フアン・アントニオ・カッレーラ**（Juan Antonio Carrera）神父、中央事務局のメンバーとして**ヴァルディール・ジョセ・デ・カストロ**（Valdir José De Castro）神父、**セルソ・ゴディラーノ**（Celso Godilano）神父、**カルロ・チビエン**（Carlo Cibien）神父の 3 人が選ばれ、インフォメーション担当者として**アントニオ・リッツォーロ**（Antonio Rizzolo）神父、書記として**ラファエル・ゴンサーレス**（Rafael González）神父と**ミケーレ・レオーネ**（Michele Leone）神父が選ばれました。

総会は、今日、4 月 29 日の午後、上級長上たちの報告をもって続けられました。同時に、メンバーのそろった中央事務局は、早速、これからの作業日程の調整に取り組んでいます。

わたしたち、総会参加者の間に落ち着きのある、建設的な姿勢が保たれるように、また神から受けた賜物であるパウロ的カリスマを創立から 100 年を迎える今、燃え上がらせるのにわたしたちが本当に貢献することができるように、祈りをとおして共にいてくださるよう皆さんにお願いいたします。

2010 年 4 月 29 日、アリッチャ（ローマ）

インフォメーション担当：アントニオ・リッツォーロ神父

IX CAPITOLO GENERALE
Casa Divin Maestro - 00040 ARICCIA - Tel. (39) 06.93.48.61
capitologenerale@paulus.net - www.paulus.net/cg2010